

令和4年度 大木町立木佐木小学校 学力向上プラン

■視点1-②

《中期目標》 **思いを豊かに表現し互いを高め合う** 子どもの育成
 〈成果指標〉 令和7年度の全国調査の標準化得点：国語103以上 算数103以上

《短期目標》 習得した知識や技能を確実に身につけ、**声を響かせ学ぶことを楽しむ** 子どもの育成
 〈成果目標〉 令和4年度の全国調査の標準化得点：国語107点 算数103点
 (令和5年度福岡県学力調査【中1】において、県標準化得点 国語107以上 数学103以上)

■視点5

【家庭・関係機関との連携】

〈取組（指標）〉
 ⑤学力向上に向けた環境づくり
 ・授業とリンクする家庭学習の工夫（家庭学習の目的・内容と時間、復習・予習の仕方、自分自身で解決する問題、学び続ける力）について家庭との共通理解・家庭学習の手引き配付（6月までに）
 ・規則正しい起床・就寝時刻の徹底（9月・1月）
 学力向上に向けた連携
 ・学校関係者評価と連携した自己評価の推進と評価結果や改善策の公表
 ・大木町学力向上推進計画の活用と4校共通実践項目（学びのスタンダード）の学校化の推進（5月）
 〈成果（指標）〉
 ◆質問紙調査「家庭での学習習慣（自主学習）の定着」「自分で計画を立てた勉強」の結果（全国比+2.0）

■視点2

【授業づくり】

〔主体的・対話的で深い学びの実践〕
 ②・③〈取組（指標）〉
 ○ 既習学習とのズレや体験から「めあて」を持ち、「見通し」を立て、それをやり遂げるだけの「知識」・「技能」を身につけ、「まとめ」「ふり返り」で共有し確認。（週案に記入）
 〈成果（指標）〉
 ◆ 児童による授業評価（「ペアや班などで自分の考えを伝えたり自分の考えと友達の考えを比べたりして、自分の考えをよりよいものにすることができた」など 3.0以上：4段階評定尺度）教師による自己評価（「児童生徒同士が相互に関わり合い、考えを広げ深めるための工夫がなされている」など3.0以上：4段階評定尺度）
 〔目的や相手をとらえた表現力が育成されるような力の育成〕
 ②・③・④〈取組（指標）〉
 ○ 一人学びや「書く活動」の中で互いの考えや思いを共有するために表現させる。（毎時間）
 視写による速く書く技能・条件作文による書く力を習得する。（火曜朝活）
 〈成果（指標）〉
 ◆ 児童による授業評価（「伝える相手を意識して、学習して身につけたことや考えたことを自分の言葉で書くことができたか」 3.0以上：4段階評定尺度）

■視点4

【教員の意識・指導力の向上】

〈取組（指標）〉
 ③学力向上コーディネーターを中心とした推進委員会Aでの協働的な研究体制の推進と学習状況の把握（毎月1回）
 ④書く活動を必要に応じて位置づけた授業を公開（全員1人年1回以上）
 ⑥小中合同の研修会の実施（年4回部会、2年に1回授業研究）
 〈成果（指標）〉
 ◆教員アンケート（「児童は習得した知識や技能を使って、課題を解決している」 75%以上：100%評定尺度）

■視点3

【学力基盤づくり】

〈取組（指標）〉
 ① 基礎学力の向上を図る木佐木タイム（火一基礎基本・視写 木一基礎基本・算数技能の補充 実施率80%以上）
 ⑤ 個に応じた指導（長期休暇中の課題・プランニングシートを活用一個別選択可）…高学力層・低学力層
 ④ 個別取り出し指導（学年末単元において別室にて個別指導…前学年までの知識・技能不足の児童の補充）…低学力層
 ② 学級の問題を見つめ、話し合いながら人間関係調整力を高める活動の設定（2ヶ月に1回：学活 話し合い活動→実践活動）
 ④ 社会性（相手を意識し、積極的なかかわりをする）を高めるための木佐木版キャリアパスポートの活用
 〈成果（指標）〉
 ◆ 国語・算数観点別テスト（85/100点到達児童（全学年）80%以上） ◆ Q U 調査（社会性低い児童配慮8項目・かかわり8項目の10%up）
 ◆ 学習したことを生かして、相手に伝えたり教えたりして、うれしかったことがある。（「当てはまる」：70%以上）

■視点1-①

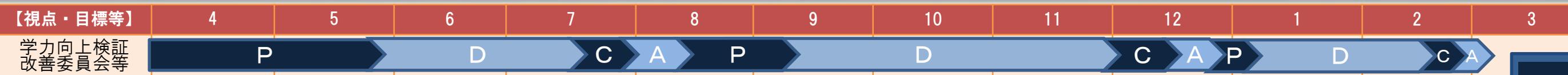
全国学力・学習状況調査、県学力調査及び児童生徒による授業評価等から見た「課題」

授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

教科	国語		算数		四分位層の県との差	国語				算数				
	R3	R4	R3	R4		A層	B層	C層	D層	A層	B層	C層	D層	
全国（県）調査標準化得点	104.9	107	100.9	103		R3	-0.2	+1.5	+0.8	-2.0	-0.6	+9.0	-7.9	-0.6
						R4	+1.2	-3.7	-11.6	+14.4	-18.2	-7.3	+13.1	+12.6
課題	・R3年5年県学テ国語科「我が国の言語文化に関する事項」が全国比-8.5%。 ・R3年5年県学テ算数科「データの活用」全国比-7.7%、R3年6年算数科「変化と関係」全国比-8.1%。 ・R3年5年県学テ国語科C/D層48.1%・算数科C/D層40.6%													
質問紙調査等	・「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由とが分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか」(全国比-5.8%) ・「普段(月～金)、1日にどれくらいの時間テレビゲームをしますか」(2～4時間以上：全国比+4.3%) ・「家で自分で計画を立てて勉強していますか」(全国比-23.6%) ・QU調査…学校全体としてのソーシャルスキルは、全国平均と比べて高い傾向にあるが、人への配慮・かかわりスキルが低い児童も若干みられる。													

- ①基礎・基本が定着していない児童に対する補充的な指導が不十分。
- ②教科指導における相手を意識した表現や積極的なかかわり方の目的と内容が不明確。
- ③問題解決的な学習、自他の考えを出し合い、交流する活動が不十分。
- ④考えや思いを書く活動の指導（個別指導）が不十分。
- ⑤学力向上に向けた家庭学習の課題提示の方途について家庭との連携が不十分。
- ⑥中学校区で育てたい子ども像の共有と共通実践が不十分。

令和4年度 学力向上プランを基にした検証改善ロードマップ 大木町立木佐木小学校



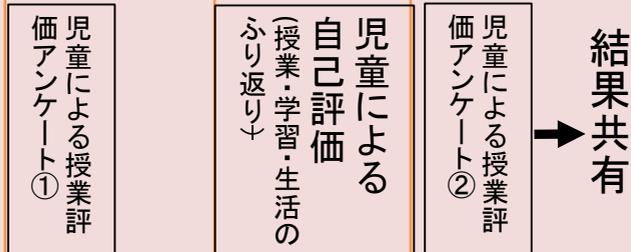
《視点2》授業づくり

主体的で対話的な深い学び（思考を伴う書く活動の重点化）
 ○「めあて」を持ち「見通し」を立て、それをやり遂げるだけの「知識」・「技能」を身につけ、「振り返り」で確認するような授業改善
 ○相手意識をもった云え合い

九力年における思考力と結合した「書く」指導モデルの活用

1単位時間の知識・技能を明確にした授業
 必然性のある意図的な書く活動を位置付けた授業～各教科

週案（知識・技能）



週案（思考を伴う書く活動と表現場面）（スキルタイムの内容）

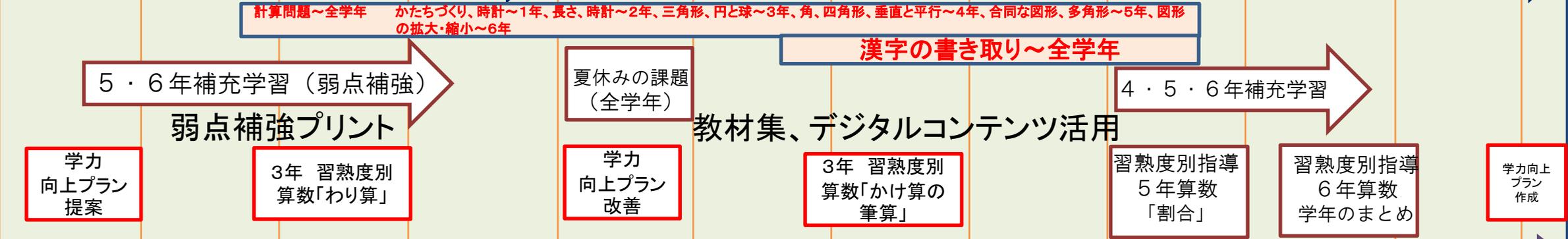


基礎学力の向上（木佐木タイム/視写）

基礎学力の充実（木佐木タイム/視写・条件作文・スキル学習・ドリル）

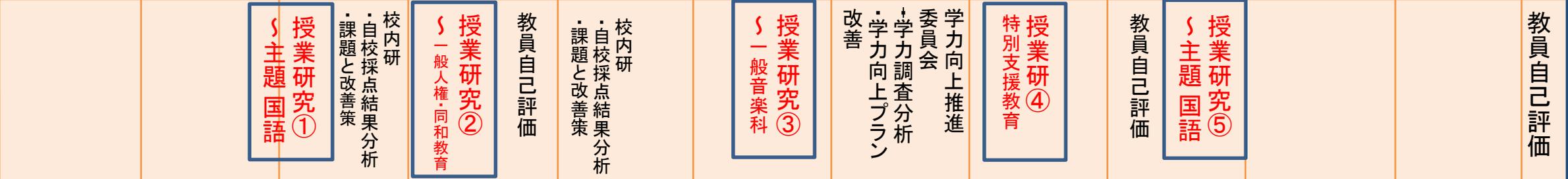
《視点3》学力基盤づくり

児童の学習状況に合わせた指導
 ○基礎学力の向上（木佐木タイム）
 ○補充学習
 ○習熟度別授業（LD傾向児童支援含）
 ○人間関係調整力を高める活動の設定



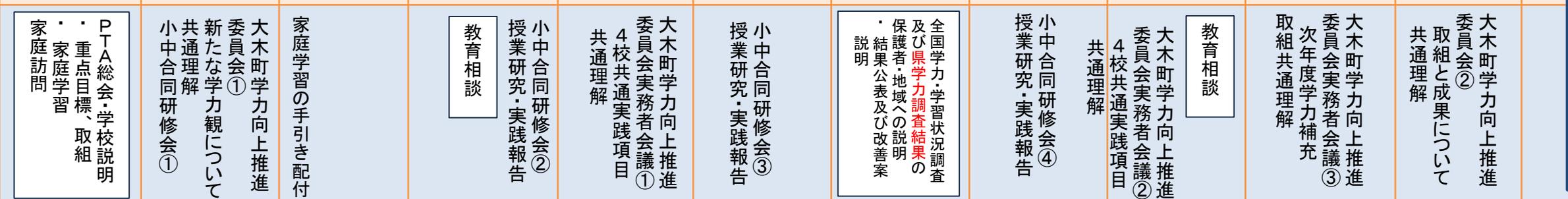
《視点4》教員の意識・指導力の向上

○学力向上CNを中心とした推進委員会での協働的な研究



《視点5》家庭・関係機関との連携

○共通実践項目の設定
 ○教育環境整備と連携



一年間の総括